

草刈りの事故防止・効率化に向けて斜面草刈機実演

7月13日(水)、斜面草刈機の実演研修が秋田市雄和のため池で行われました。秋田県および県多面的機能支援協議会の主催とJA全農あきたの共催で開かれたもので、生産者ら約50名が参加しました。

高齢化や人手不足が進むなかで、農地周辺の管理作業の効率化や安全性の向上が重要な課題となっています。研修では草刈り作業の負担軽減や事故防止のため、ハンドルを伸ばして斜面に立ち入らなくても草刈りができる機種や、遠くから操作できるラジコン草刈機が紹介され、3機種が実際のため池の斜面で雑草を刈り取りました。刈払機の適切な使用方法を学ぶ安全講習も行われました。



斜面の草を刈るラジコン草刈機を見る参加者

コインランドリー「ライフクリーン」2周年感謝祭

(株)JA秋田なまはげライフサービスが運営するコインランドリー「ライフクリーン」が、開店から2周年を迎えました。7月19日(火)から24日(日)まで感謝祭が行われ、洗濯物の持ち運びに利用できる大型バッグや乾燥機用柔軟剤シートが、来場者に先着でプレゼントされました。

店舗は半径1キロ圏内に総合病院や大学などがある同社の本社敷地内にあり、幅広い世代の地域住民が連日訪れています。感謝祭の初日も親子連れや学生など多くの人でにぎわい、衣類や寝具などをランドリーに入れ、記念品を受け取りました。大型バッグをその場で使い始める姿も見られました。



地域住民でにぎわう感謝祭初日のコインランドリー

NEWS & TOPICS

枝豆の出荷シーズン到来

当JA管内で、今年産の枝豆の収穫期を迎えました。秋田市雄和の園芸集出荷施設が7月18日(月)から稼働し、「神風香」「味風香」などの出荷が始まりました。

当JA産の枝豆は秋田市市場や関東、関西方面の県外市場に出荷されており、今後「湯あがり娘」「あきたほのか」などの品種をリリースして10月まで続く見込みです。8月からは管内の量販店で朝採り販売事業「今朝採りたての枝豆」も始まります。繁忙期を目前に控えた20日(水)には出荷目安会が開かれ、生産者らが品質基準や他産地の情勢などを確認しました。ダイズサヤタバエなどの病害虫防除についても学びました。



枝豆の等級基準を確かめる生産者ら

JA緊急全国大会で万全な肥料高騰対策を要請

昨今の世界情勢に伴う生産資材価格の高騰などを受け、JA全中と全国農政連による生産資材高騰対策等基本農政確立緊急全国大会が7月22日(金)に開かれました。全国JAの代表をはじめ約5000名がオンラインを含め参加しました。

大会では、肥料価格の高騰を万全に緩和して農業経営の安定が図られる対策や、耕畜連携による化学肥料の削減などといった肥料コストを低減する環境調和型農業への支援拡充、配合飼料価格安定制度の安定的な運用、地域の実態に合った支援に向けた地方創生臨時交付金の拡充などを、与党に要請しました。令和5年度の農業関係予算に関する要請も伝えられました。



生産現場の負担を緩和する万全の対策を求めました

